神戸新聞 2016年07月26日 火曜日 面名 朝三社 １３ 31ページ

日本機械学会が7件を選定

機械遺産に「スバル360」

日本機械学会は25日、歴史的に意義のある「機械遺産」に、1950年代から販売された軽自動車のヒット作「スバル360」や、岩手県八幡平市の日本初の地熱発電所など7件を選んだ。機械遺産の選定は10回目で計83件となった。

スバル360は富士重工業が開発。自家用車が夢の時代に低価格の乗用車の普及を目指し、日本独自規格の軽自動車として39万台が生産された。ユニークなデザインで「テントウムシ」「デメキン」とも呼ばれた。

松川地熱発電所は日本で初めて66年に商用運転を始め、現在も運転を続ける。地熱活用の先駆けとして技術開発をリードした。

大阪市の事務用品販売会社の伊藤喜商店（現イトーキ）が大正初期に製造した国産最古級のレジスター「ゼニアイキ」は、全国の中小企業で使われた。

日本のガソリンスタンドの原型とされる「ガソリン計量機」（横浜市）や、世界に普及した自動洗車機の原点である「移動式ブラシ付門型自動洗車機」（名古屋市）が選ばれた。

和歌山県串本町に1870年に設置され、現在も現役の灯台である「樫野埼灯台」の光学系機械装置や、埼玉県東松山市に保存されている明治末期の船舶用の蒸気エンジンも遺産に認定された。

上軽自動車「スバル360」下右国産最古級のレジスター「ゼニアイキ」下左ガソリンスタンドの原型とされる「ガソリン計量機」（日本機械学会提供）

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前【　　】

① 日本機械学会がこのたび「機械遺産」に選んだ軽自動車は、どのようなものですか？詳しく説明しているところにマーカーで印をつけましょう。

② それ以外に選ばれた機械6つを答えましょう。

③ この記事を読んだ感想を書きましょう。

NIEワークシート／小学校高学年～高校／国語、社会、総合、朝NIE